

HIGASHI OSAKA MIDORI R.C



SERVE TO CHANGE LIVES

CLUB WEEKLY

国際ロータリー 第2660地区
東大阪みどりロータリークラブ

創 立 1998年9月24日
会 長 北 井 孝 彦
幹 事 表 孝 典
会報委員長 井 上 善 博

2021-10-07 (第1002回)

今週のプログラム

≪10月07日(木) 例会KKRホテル5階「瑞宝」≫

◎卓 話 「幻の東京オリンピックと紀元2600年」
北井孝彦君

♪本日の歌 「君が代」「奉仕の理想」

来週の予定

≪10月14日(木) 例会KKRホテル5階「瑞宝」≫

◎卓 話 「半島の地政学について」
小寺史郎君

先週の出席者

≪8月05日(木) 例会≫

会員数17名 出席者7名(53.8%)

*7月01日(木) 例会修正出席率 76.9%

会員数17名 出席者8名/メークアップ2名

幹事報告

幹事 表 孝典君

◎本日例会後定例理事会を行います。

◎次週(10/14)、17時30分よりガバナー補佐とのクラブ協議会が行われます。伴井ガバナー補佐エレクトも同伴されます。引き続き例会に出席されますので、出来るだけ例会出席を宜しくお願い致します。

≪8月度新旧合同理事会議事録≫

日 時 2021年8月5日(木) 例会後

場 所 KKRホテル2階「琴」

出席者 北井、政岡、阪田、井上、田村、表

欠席者 木戸、小寺、谷口

◎8. 9月行事予定

8月5日(木) 定例理事会

8月12日(木) 公休日

8月26日(木) 公休日

8月27日(金) IM第4組会長会(北井会長)

8月28日(土) 公共イメージ向上並びにクラブビジョン

策定セミナー(北井会長)

クラブ青少年奉仕合同委員長会議

(阪田青少年奉仕担当)

ロータリー財団セミナー(政岡R財団担当)

9月2日(木) 定例理事会(中止)

9月15日(水) 東輪会合同例会(中止)

9月16日(木) 公休日

9月23日(木) 祝日のため休会

9月30日(木) GM

◎「東大阪市をみどりにする会」について
年会費支払い承認されました。

例会場：KKRホテル大阪 Tel：06-6941-1122

例会日時：毎週木曜日 午後6時30分

事務所：〒631-0001 奈良市北登美ヶ丘3-11-30

Tel. 0742-55-4869 Fax. 0742-51-1067

E-mail midorirc1126@gmail.com



◎例会開催について

緊急事態宣言下においても重症病床使用率60%未満の場合、原則開会とし、ZOOMでの開会も会長幹事の判断で適宜行うことができることが承認されました。

◎2021-2022年度予算案について

別紙の通り予算案が承認されました。

◎2021-2022年度役員について

副幹事に井上善博会員が承認されました。

◎事務局移転について

次の通り確認されました。

- ・7月29日付けで退去届け完了(8月31日まで)
- ・引越にあたり資料の整理(井上会員・事務局)
- ・新事務所への複合機の移転時期(8月20日以降)
- ・新事務所のネット環境・電話回線・維持費については表幹事が業者と打ち合わせの上決定。
- ・新事務所の備品については、事務局が選択決定すること。

◎栄誉会員のクラブ細則改訂について

会長が小寺会員と打ち合わせの上、改訂手続きを行うことが了承されました。

◎確認事項

○MyRotaryについて現状6名であるが、参加促進を確認しました。(田村・谷口・阪田・辻・松ヶ下各会員)

会長の時間 (8/5)

会長 北井孝彦君

8月は、会員増強・新クラブ結成推進月間です。本日は、地区クラブ奉仕・拡大増強委員長の東大阪RCの加茂次也様に緊急事態宣言下にも拘わりませずお越しいただき卓話をいただきます。

また、本日は村上会員の東大阪敬愛高等学校の卒業生の清水希容さん、当クラブ20周年にもお越しいただきましたが、オリンピック空手女子形の準決勝B組を1位で通過し決勝に進まれました。19時50分から決勝です。皆さんで応援したいと思います。

今、第32回東京オリンピックの競技が盛んに繰り広げられていますが、先日23日の開会式の午後に航空自衛隊「ブルーインパルス」が東京上空を飛行し五

輪のマークを描きました。

57年前の第18回東京オリンピックでも、1964年10月10日、75,000人の観衆の見守る中、開会式で選手宣誓の直後、5機のF-86F戦闘機が、見事に五輪の輪を描きました。

開会式で五輪のマークを描くと決まったのは、1年半程度前でした。輪を描くことは、水平面なら可能だが、垂直に真円はとても描けないどうしても小文字の1になってしまう大変難しいものでした。それぞれの機体は前後に7000フィート(約2.1キロ)、輪は6000フィート(1.8キロ)、輪と輪の間は1000フィート(300メートル)という編隊でした。天気が良くてもよく見えないくらいの距離ですべて目視でした。速度250ノット(463キロ/時)で飛ぶと真円が描けるという計算でした。

40回～50回練習をしたけれど一度も五輪旗のような綺麗な五つの輪を描けなかったそうです。

開会式の前日、新橋の第一ホテルに宿泊、東京は土砂降りの大雨で翌日決行かわからなかった。

この展示飛行は、世界中に実況中継される。日本の戦後をアピールする世界に示す大きな機会、絶対に失敗は許されない。

当日、埼玉入間基地から飛び立った、江ノ島上空で待機。五輪を描く予定時刻15時10分20秒。

上空でラジオの実況を頼りにタイミングをはかる。いざ国立競技場へ速度250ノット(463キロ/時)高度1万フィート(3048メートル)でした。

松下リーダーの合図「スタタン・ナウ(スタート・ターン・ナウ=旋回開始せよ)」、「スモーク、ナウ」操縦桿の引き金を引き煙を出す。一周回って自分の煙のしっぽに入った瞬間にスイッチを離して煙を消す。

その瞬間に地上では、光淳皇后が昭和天皇に上を指さされ天皇陛下が視線を上げて五輪をご覧になった。

放たれた鳩が一斉に舞い上がりカメラがそれを写し出したところに、五輪の輪・・・絶妙のタイミング。奇跡ではない、すべてが計算されたタイミングだった。なんと、練習では一度も成功していなかった五色の五輪が、これ以上ない美しさで描かれた。後日譚ですが、開会式の成功の後、組織委員会から



閉会式でもやってくれないかと依頼が来たが、松下リーダーが断った。入間基地に戻って、整備士の人たちと喜び合った。色つきのスモークは高価なため本番の際に始めて使われたそうです。また、パイプに詰まりやすい素材のため整備士の人たちも不具合が出ないか気が気ではなかったとのことでした。

招聘卓話

「会員増強・新クラブ結成推進月間」に因んで

クラブ奉仕・拡大増強委員長 加茂次也様

*パワーポイントの資料から一部抜粋

トップのリーダーシップは極めて重要

- ・しっかりとした目標と計画をたてる
- ・例会等で絶えず語りかけ会員をその気にさせる
- ・色々な増強の話し合いの機会を設ける
- ・常に増強活動状況をフォローし、状況を把握する。

会員増強のポイント

◎候補者のデータベース

- ・候補者のリストアップ、更新、棚卸、確実な引継ぎ
- ・全員参加（役員・担当委員だけに任せるのではなく（少人数グループによる推薦活動も効果的）
- ・理事会メンバーによる率先した候補者推薦

◎PRと候補者への勧誘

- ・パンフレットなどツールの作成と活用
- ・継続的に何度も、ある程度は強引に！
- ・例会、親睦活動などへの招待

◎入会後のケア

- ・クラブに慣れるまでのきめ細かいケア

◎退会防止

- ・退会意向の早期把握と慰留
- ・退会理由の分析とフィードバック
- ・声かけ、コミュニケーション
- ・転勤、退会の後任の推薦
- ・OB会員、シニア会員などの設定

会員種別に関するルール変更

クラブ細則を変更することにより次の例外が認められることとなった。

◎例会と出席に関する規定の例外

（クラブ定款第7条第1節及び第10条第7節）

- ・例会の回数、内容などの変更（多様な例会が可能に）

- ・出席に関する規定の変更

◎会員身分に関する規定の例外

（クラブ定款第8条第7節）

- ・会員種類の多様化

OB会員、シニア会員、ジュニア会員。法人会員。遠隔地会員、アラカルト会員、家族会員・・・

会員種別の多様化に関する検討事項

会員種類ごとに次の各項目をどうするかを決めて、クラブ細則に盛り込む必要があります。

- ・例会の取り扱い

従来通りの例会、WEBなどで補充

- ・例会の出席義務

従来通りの出席義務を課す、緩和する、適用免除する、出席義務を緩和した会員が例会に出席した場合の取り扱い（ビジターフィー相当額の徴収等）

- ・入会金、会費

免除か、減額か、減額の程度は・・・など

なお、こうして規定された会員は正会員である限り、RIに対して人道分担金など地区に対して地区負担金など従来の正会員と同じ費用を支払う必要があります。

「世界は絶えず変化しています。そして私たちは正解とともに変化する心構えがなければなりません（ポールハリス）



本日のお祝い

会員交流委員会

◎会員のお誕生日 9月29日 阪田克英君

◎奥様のお誕生日 10月7日 濱田恵摩様

ニコニコ箱の報告

例会担当委員会

(8/5) 合計 8,000円 今年度累計 46,000円



パンデミック（その1）概説

感染症の流行はその規模に応じて (1)エンデミック、(2)エピソード、(3)パンデミックに分けられ、国境や大陸を超えて世界流行となったものをパンデミック（汎発流行）という。語源はギリシャ語の pandemos (pan-「全て」+demos「人々」) で、全ての人々にとっての脅威であった。

現在までに世界各地でパンデミックを起こした感染症には、天然痘・ポリオ・麻疹・風疹・インフルエンザ・エイズなどのウイルス感染症、ペスト・梅毒・コレラ・結核・麻疹チフスなどの細菌感染症、マラリアなどの原虫感染症が存在する。

【パンデミックの歴史】

★541年—542年 ユスティニアヌスのペスト（地中海） 歴史に記録された世界最初のペスト流行で、2500万人の死者を出した。

★1347年—1352年 アジア・全ヨーロッパに広がった二度目のペスト大流行。皮下出血を伴って死に至るため“黒死病”と呼ばれ、このときのヨーロッパ全人口の三分の一に当たる2500万人から3000万人もの死者を出したが、各年度の死者の総計は1億人に上ると推定されている。その後もペストは合わせて3回のパンデミックを起こしている。

★16世紀 ヨーロッパ人によってもたらされた天然痘が、このウイルスに対して免疫を持たなかった南北アメリカ大陸の先住民の間で猛威を振るい、先住民の人口が十分の一にまで減少した。死者1700万人。これによってアステカ帝国やインカ帝国が滅亡へ向かい、スペインの新大陸制覇を許す一因となった。

★19世紀から20世紀にかけてコレラが、地域を変えつつ7回の大流行を起こした。

1816-1826年 アジア

1829-1851年 欧州・北米

1852-1860年 ロシア（死者100万人）

1863-1875年 欧州・アフリカ

1866年 北米

1892年 ドイツ

1899-1923年 ロシア

1894年には香港でコレラが大流行し、欧米への拡大が懸念されたため、国際協力の下、隔離・防疫体制が敷かれ、香港外への拡散が防がれた。これが感染症に対する国際防疫体制の始まりとなった。

★1918年 第一次世界大戦のヨーロッパ戦線に大量投入されたアメリカ軍によって、インフルエンザ（スペイン風邪）が持ち込まれ、塹壕の中で戦闘によらない死者が続出した。その後、インフルエンザがドイツ軍側に移り、弾に当たらないで死亡する兵士が増え、これが第一次大戦の終結を早めたとされる。

その後、インフルエンザの流行は欧州から全世界へ拡大したが、この時期、第一次世界大戦の末期に当たり、総力戦体制の下で、軍隊や労働者の異動が活発となったことが被害を甚大なものにした。

1918-1920年 スペイン風邪（インフルエンザA）
世界 死者5000万人

1957-1958年 アジア風邪（インフルエンザA）
世界 死者100万人

1968-1969年 香港風邪（インフルエンザA）
世界 死者75万人

2009-2010年 新型インフルエンザ
死者1万5千人

★アメリカ西部の刑務所で発生した免疫異常患者と同じ状況が、遠く離れた東部刑務所内でも発見され、この不思議な現象の解明に多くの研究者が従事して、エイズ（後天性免疫不全症候群）ウイルスが明らかになった。1980年代以降、エイズの患者が全世界で増大したが、とりわけ最も感染の激しかったサハラ砂漠以南のアフリカでは、全人口の30%以上が感染した国家まで出現した。これにより平均寿命の大幅な減少が複数の国家で見られた。

★新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）による急性呼吸器疾患（COVID-19）が中国の湖北省東部の武漢市から流行し、2020年3月11日、WHOは「親型コロナウイルスの流行について、パンデミック相当である」との見解を示した。

2021年3月、国内の新型コロナ感染者数が低いことから、日本人のコロナに対する抵抗力や、不正確な情報が乱れ飛んだが、この当時、既に世界では1億人以上の感染者と、257万人以上の死者を出していた。

——つづく——

（山片重房）

あいみ さから な
相視て笑い、心に逆ふこと莫し「莫逆の交」を目指そう!!

2021～2022年度 東大阪みどりRCのテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度 国際ロータリーのテーマ

SERVE TO CHANGE LIVES